

# 12 大原地域

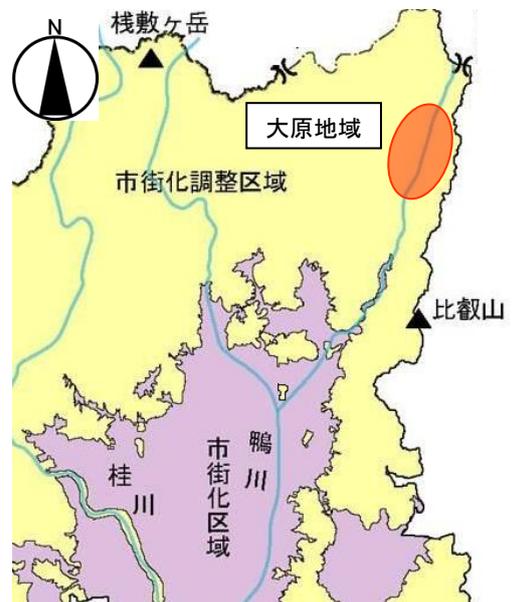
## (1) 地域の概要

大原地域は豊かな自然に恵まれ、平安時代から都に近い「里」として歴史を重ねてきました。当地域の美しい里山、豊かな歴史環境、長い時代培われてきた里のたたずまい、親密なご近所付き合いや支え合いの結いの心などは、住民だけでなく、多くの人に親しまれてきました。

当地域は市街化調整区域に位置し、豊かな自然的環境が広がり、また、歴史的資源が豊富に存在していますが、その一方で、人口減少、少子高齢化の進行や、生活の都市化の進展により、大原らしい自然的、歴史的環境が持続する里づくりが課題となっています。

このような状況を踏まえ、当地域では、平成13年にNPO法人「京都大原里づくり協会」が設立され、また、平成15年に大原自治連合会と京都大原里づくり協会の協働により、「京都大原里づくりプラン」が策定されるなど、様々なまちづくりの取組を進められてきました。

当地域では、里づくりプランに描いた多くのテーマが実現していますが、その一方で、少子高齢化が更に進み、地域の衰退が危惧されていることから、改めて大原の里の将来像を再確認し、時代の流れに合った里づくりプランとするため、平成25年4月に「京都大原里づくりプラン」を改訂し、大原の里づくりを再スタートさせています。



## (2) 地域の将来像

### ① まちづくりの理念・基本的な考え方

大原地域では、地域住民が主体となり、大原の自然・歴史的環境を大切にするとともに、互いが支え合う「結いの心」を継承し、大原のなりわいが元気になり、大原の魅力をもっと高めることで、愛着を持って住み続けたい、住みたいと思える、「心地良い大原の里づくり」を目指します。

#### 『大原里づくり憲章』

大原には、豊かな自然と平安時代から受け継がれてきた歴史や伝統があります。

近年は、生活環境の都市化に伴い里の風情が薄れつつあり、少子高齢化が一段と進むと共に、里の魅力が失われようとしています。

この美しい大原の未来のために、すべての住民が安心して住み続け、大原らしい魅力を発信する里として再生することをめざし、暮らしの規範となる「大原里づくり憲章」を定めます。

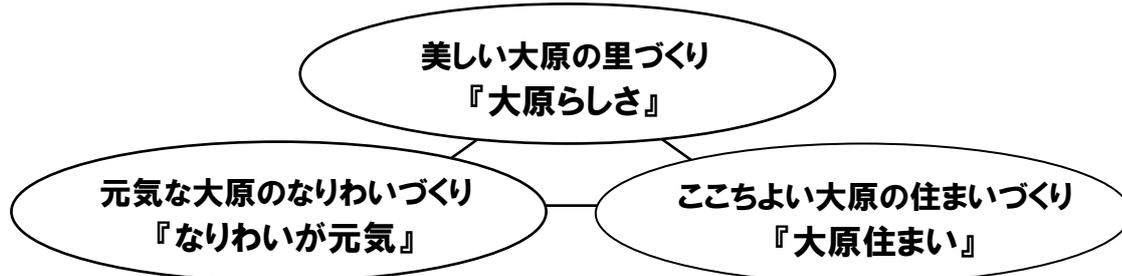
- 私たち大原の住民は、歴史・風土・伝統文化を伝承します。
- 私たち大原の住民は、自然を大切に、里山の保全に努めます。
- 私たち大原の住民は、なりわいが元気な大原の里を目指します。
- 私たち大原の住民は、多世代が支え合う絆を大切にします。
- 私たち大原の住民は、子育てしやすい環境づくりを進めます。
- 私たち大原の住民は、おもてなしの心を大切にします。

## ② 地域の目標・将来像

「京都大原里づくりプラン」の基本テーマに掲げる「こちよ大原の里づくり」を目標として、大原の里の魅力を構成する「大原らしさ」、「なりわい」、「大原住まい」の3つの基本方針を掲げ、個々の進化と相互連携の相乗効果による大原の里づくりを目指します。

(京都大原里づくりプランの基本テーマ)  
**こちよ大原の里づくり**  
—美しく、元気で、こちよい、持続する大原の里づくり—

(京都大原里づくりプランの基本方針)



## (3) 地域のまちづくりの方針

### ○ 方針1 『大原らしさ』—大原らしい地域文化の向上を目指します。

- ・ 平安時代から連綿と受け継がれてきた多くの歴史的資源や伝統文化を次世代に継承し、積極的な活用を進めます。
- ・ 著しい少子高齢化に対応し、地域の魅力を更に高めるため、土地利用や景観づくり等、大原らしいルールづくりを目指します。
- ・ 地域住民のスポーツ振興及び地域グラウンドの設置を目指します。
- ・ 住民の交流や文化活動の拠点及び災害時の避難拠点の整備を目指します。

### ○ 方針2 『なりわいが元気』—大原らしい農林業と観光が元気な里づくりを目指します。

- ・ 農産物の6次産業化（生産、加工、流通の一本化）と新たな大原ブランドとなる特産品の開発を進めます。
- ・ 農業基盤が未整備の地区において、農地の有効活用を推進します。
- ・ 観光の多様化に伴うニューツーリズム（個人、体験、交流型）の開発及び推進を図ります。
- ・ 歩きながら大原の里の魅力を楽しむ観光づくりや地域の生活道路の安全確保を図ります。
- ・ 里山の保全整備と有効活用を進めます。

### ○ 方針3 『大原住まい』—若年層や新しい人を迎え、多世代が交流する住まいづくりを目指します。

- ・ 地域の実態に適応した多様な地区計画制度を積極的に活用することにより、誰もが住むことができる多様な住まいを供給し、若者や大原に住むことを望まれる都市部の住民の定住を図ります。
- ・ 子育て世代が定住できるよう、農業や観光等の地域特性をいかした就業環境の整備を図ります。
- ・ 高齢者の日常生活を地域全体で支援する環境整備を目指します。
- ・ 大規模災害時においても、地域の実状に即した自立した自主防災対策を図ります。
- ・ 地域の交通環境の改善や観光シーズンにおける移動性の向上を目指します。